

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503437		
法人名	株式会社 ケアテック		
事業所名	グループホーム あかね		
所在地	北海道札幌市白石区東札幌5条4丁目1番7 (電話) 011-837-8502		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年10月8日	評価確定日	平成21年10月15日

【情報提供票より】(平成21年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年8月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 12.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000~40,000円	その他の経費(月額)	20,000~30,000円	
敷金	(有) 36,000~40,000円 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,300円	

(4) 利用者の概要(9月15日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 82.6歳	最低	53歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院・きよみず公園クリニック・日之出歯科診療所
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

普段から交流のある児童会館や図書館、公園、地下鉄の駅がある交通の利便性に恵まれた中にある2ユニットのグループホームです。地域の行事参加やホームでの食事会、健康体操教室のホーム内での開催、近隣の銭湯に利用者と共にかける試みや、児童会館の子供たちとの相互訪問など日常生活を通じて地域の人達との交流に努めています。また、主治医や看護師の協力の元に「看取り」の研修会の実施や車椅子を使わないケアの実践など働きながら学べる場の提供や職員の段階に応じた研修が計画的に行われています。また、事故防止のために事故防止対策委員会でヒヤリ・ハットに取り組み、データの分析を行い、未だ起きていない事故への対策が実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の開催でホームの具体的活動の取り組みの紹介について改善点が挙げられていましたが、ホームのこだわりのある食事の提供について食材の安全性や栄養バランス、摂取カロリーなど実際に食事を実施して意見交換が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、新たな気づきや改善の機会として利用しています。また、外部評価の結果については、カンファレンス等で話し合わせ職員間で周知すると共に運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に実施されています。議題は食事の内容(食材や栄養バランス)について ホームの年間行事について お薬との上手な付き合い方について ホーム内での日常生活の様子について ホームへの要望や意見について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口に「苦情受付」ボックスを設置して、意見や不満、苦情等を言い表せる機会を設けています。また、家族毎にホーム行事参加や買物などの日常生活の様子や行事参加のお知らせ、健康状態など「あかね便り」を発行して情報提供されていると共に来訪時には気軽に話せる機会の雰囲気作りに配慮しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 児童会館の児童との相互訪問を通じた交流や社交ダンスなどの地域ボランティアの積極的な受け入れ、健康体操教室の開催など日常生活を通じて地域との連携した取り組みが実践されています。また、地域の人達が気軽に訪問できるようにホーム行事参加の案内や運営推進会議でホームの取り組みへの理解が深まるように広報しています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、その実践に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、個々の具体的目標を設定し、その達成に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	児童会館の児童との相互訪問を通じた交流や社交ダンスなどの地域ボランティアの積極的な受け入れ、健康体操教室の開催など日常生活を通じて地域との連携した取り組みが実践されている。また、地域の人々が気軽に訪問できるようにホーム行事参加の案内やホームの取り組みを広報している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、新たな気づきや改善の機会として利用している。また、外部評価の結果については、カンファレンス等で話し合わせ職員間で周知すると共に運営推進会議にも報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催されている。委員は、家族、近隣住民、包括支援センター、児童会館館長、まちづくりセンター所長、管理者・職員で構成され具体的活動に取り組んでいる。</p>		<p>特筆すべき点として、運営推進会議に於いて、札幌市の「出前講座」などを利用して「ノロウイルス感染症予防」など具体的活動に取り組んでいる。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、運営推進会議以外にも「出前講座」や管理者研修参加を通じてケアサービスの質の向上に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「あかね便り」を発行して、職員の異動や買物などの日常生活の様子、毎月の行事参加のお知らせなど情報提供している。また、金銭管理についても報告されていると共に認知症の基礎知識など継続的に連載して広報活動にも取り組んでいる。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に「苦情受付」ボックスを設置して、意見や不満、苦情等を言い表せる機会を設けている。また、「あかね便り」を発行して、日常の生活の様子や健康状態など情報提供されていると共に来訪時には気軽に話せる機会の雰囲気作りに配慮している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職を減らす取り組みが行われ離職率は低い。また、来訪者や利用者に分かりやすいように共用空間の見やすい場所に職員の写真が掲示されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>主治医や看護師の協力の元に「看取り」の研修会の実施や車椅子を使わないケアの実践など働きながら学べる場の提供や職員の段階に応じた研修が計画的に行われている。また、カンファレンスなどで薬の効能や認知症について法人内外の研修参加が行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、事故防止のために事故防止対策委員会でヒヤリ・ハットに取り組み、データの分析を行い、未だ起きていない事故への対策が実践されている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・職員は、管理者会議や区の研修会で同業者との交流や情報交換を行い、ケアサービスの向上に活かされている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には利用者・家族の見学や家族・居宅の事業所から情報をもらうなどで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、畑仕事を楽しんだり、調理や塗り絵、雑巾縫い、紙細工など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握について認知症ケアに有効とされるセンター方式のさらなる活用で過去の大事な出来事や生活歴が把握され介護計画に反映されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に定期的に評価を行い、見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、往診や通院への支援、散歩や買い物、ドライブや外食など柔軟に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医や看護師、協力医との連携で適切な医療が受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>主治医や看護師の協力の元に「看取り」の研修会が行われている。また、重度化した場合や終末期のあり方について、医師と利用者・家族などと相談しながら対応するよう職員間で共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけなど支援されている。また、接遇や言葉かけなど職員間で話し合われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや思いを大切に、近隣の銭湯に出かける試みや花見、動物園や水族館見物、買い物や散歩、戸外での焼肉など本人の希望に沿って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週末には本人の希望に沿ったメニューを提供している。また、食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に準備や食事の準備や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	気分転換のために近隣の銭湯での入浴など一人ひとりの希望やタイミングに応じて支援している。また、拒否の強い利用者にも工夫した支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら読書や紙細工、雑巾縫い、食事の準備や後片付け、気分転換のための戸外での焼肉など気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の生活の中で積極的に散歩や買物などの外出を支援し、車椅子を使わないケアを心がけ効果をあげている。また、動物園や花見見物、水族館や図書館訪問など時々希望や意向に沿った支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、日中、居室や玄関は、鍵をかけていない。また、玄関にセンサーを設置して利用者が外出する時は、安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会の防災班や消防署の協力を得て、火災避難訓練が定期的に行われている。また、資格を持った防火管理責任者が配置されている。		今後は、緊急時の一時避難場所の確保や緊急連絡網の効果的運用について、さらに検討されることを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の栄養士の指導・アドバイスも受けて、栄養バランスや摂取カロリーについて把握され、具体的な水分・食事摂取量も記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間にはソファやテーブルが配置され利用者同士談笑していたり、観葉植物や利用者手作りの作品が飾られ生活感や季節感が感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた家具、テレビなどの家電製品が持ち込まれていたり、縫いぐるみや家族の写真などが飾られるなど、本人が居心地良く暮らせる工夫をしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。